

特別決議

私たち国民が安心できる政治への転換めざしてもう一步！

参議院選挙は、必ず投票に行きましょう。

鳩山内閣はわずか8カ月で崩壊しました。民主党・政権与党は、「悪政はすべて総理・総裁が勝手にやったことだ」と居直り、総括も反省もせず、総裁選挙・内閣改造で「看板の架け替え」と参議院選挙対策に狂奔しています。これでは、三度続いた自公政権時代の「政権投げ捨て」と全く同じです。

しかし鳩山政権を崩壊させたのは、国民の世論とたたかいの力です。普天間基地の無条件撤去のねがいを足蹴にしてでも米国政府いいなりの鳩山民主党への「怒り」、後期高齢者医療制度をめぐる裏切りへの「怒り」、結局大企業の言いなりの派遣法「不改正・改悪」への「怒り」、最低賃金法改正を「2020年まで先延ばし(事実上の投げ捨て)」への「怒り」、ウソを上塗りする「福祉のために消費税の増税」キャンペーンへの「怒り」、これら国民の「怒り」とたたかいの前に鳩山・民主党政権は崩壊するしかなかったのです。「こんなひどい政治なんとかしなくては」の国民的なねがいとたたかいが、古い自公政治を葬り去り、そしてまた自公政治と変わらない鳩山政権を葬り、そしていま、菅直人新内閣に国民は、「期待」とともに「きびしい視線」を向けているのです。

「国民の願いを実現する政治へ、もう一步進めるチャンスが今度の参議院選挙です。生協労連はこの参議院選挙にむけて以下の8項目の要求をかがげました。

1. 生活保護基準より低い最低賃金。いまずぐに、1,000円以上に引上げて！
2. 同じ仕事なら同じ賃金を。パート法の実効ある改正で均等待遇の実現を！
3. 雇用の安定は、国と企業の責任です。
4. 労働時間の短縮や制度充実で、仕事と家庭の両立を！
5. 重くのしかかる税負担。そのうえに消費税増税なんてとんでもない！
6. 介護難民・医療難民の解消へ。社会保障の改善・充実でくらしの安定を！
7. 憲法を守り、核兵器の廃絶と米軍基地の撤去を！
8. 地球温暖化、食糧自給率など問題山積み。持続可能な環境と農業の実現を！

職場や家庭で、いまの政治について大いに話し合ひましょう。

「どうせだれが政治をやっても変わらない」などとあきらめないで、私たち国民が安心して働き暮らせる社会、核兵器も基地もなく憲法が息づく政治への転換めざして、もう一步前進しましょう。そのために、必ず参議院選挙の投票に行きましょう。労働組合として、生協理事会に公民権行使(投票する権利)を保障する特段の配慮を要請したり、「期日前投票」の活用をよびかけるなど、すべてのなかまが投票に行けるように行動しましょう。

2010年6月10日 生協労連第91回中央委員会